

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	(1) 契約履行 ①暫定操業計画 ・12月13日 再処理施設及びMOX燃料加工施設の暫定操業計画を受領	(1) 契約履行 ①暫定操業計画 ・日本原燃から、再処理施設及びMOX燃料加工施設の暫定操業計画（再処理可能量及びMOX燃料加工可能量）を受領。
		(2) しゅん工に向けた審査対応等に係る取組み確認 ・2月4日 再処理施設等の今後の審査対応の見通し等について日本原燃から聴取	(2) しゅん工に向けた審査対応等に係る取組み確認 ・日本原燃から、以下の取組み等について確認し、しゅん工に向けた許認可への対応や工事の計画的な実施に加え、技術力の向上等、安全・安定操業に向けた取組みについても計画的に進めていくよう促した。 -12月20日 審査会合において、耐震設計及び構造設計等の検討状況について説明。 -1月31日 審査会合において、耐震設計及び構造設計等の検討状況について説明。 ・機構としては、原子力規制委員会への対応状況を注視していくとともに、都度、しゅん工に向けたスケジュールや取組みを確認していく。
2	抛出金対象事業に関わる事項	(1) 抛出金の収納 ・12月27日 廃炉抛出金の収納	(1) 抛出金の収納 ・分割納付を希望した8社(東北・中国以外)から廃炉抛出金を収納(約188億円[税抜き])。9月の納付と合わせ、今年度分の全額(約425億円[同])の納付が完了。
		(2) 使用済MOX燃料再処理実証研究の対応状況について ・2月12日 電気事業連合会から書面を受領	(2) 使用済MOX燃料再処理実証研究の対応状況について ・電気事業連合会から第80回運営委員会において提示を要請した書面を受領し、確認。
3	四半期収入・支出に関わる事項	・1月31日 2024事業年度 第3四半期の収入・支出を経済産業大臣へ報告	・財務会計省令第13条に基づき、第3四半期の収入・支出について、合計残高試算表により経済産業大臣へ報告。
4	廃炉推進業務に関わる事項	(1) 日本全体の廃炉の総合的なマネジメント ・1月9日 事業者との廃炉情報共有会合 ・1月20日 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）との廃炉情報共有会合 (2) 原子力事業者共通の課題への対応 ・1月24日 一般財団法人エネルギー総合工学研究所主催の第445回月例研究会での講演	(1) 日本全体の廃炉の総合的なマネジメント ・国内外の廃炉に係る知見・ノウハウを一元管理して有効活用するための活動の一環として、機構と事業者との廃炉情報共有会合を実施。 ・2024年6月18日に機構とJAEAとの間で締結した相互協力に関する協定に基づき、機構とJAEAとの廃炉情報共有会合を実施。 (2) 原子力事業者共通の課題への対応 ・エネルギー総合工学研究所ではエネルギー技術に関する最新情報をテーマとした研究会を毎月実施。1月24日に行われた研究会は、国内外の廃炉への取組みをテーマとして開催され、当機構から国内の廃炉円滑化への取組みについて講演。